



町田市
ホームページ



今号の紙面から ● 3面 マイナンバーカードが健康保険証として利用できるようになりました!

? お医者さんに聞く 感染症予防のための 基礎知識

町田市医師会で理事を務める渡邊智子先生に、新型コロナウイルス感染症と、これから流行の季節を迎えるインフルエンザの関係について知っておきたい情報を教えていただきました。

かかりつけ医からのアドバイスや市からの情報など、事前に知っておくといざという時の安心につながるかもしれません。

問 保健予防課 ☎725・5422



? Q 新型コロナワクチンとインフルエンザワクチン 両方接種できますか

同時接種は×。接種間隔はお互いに2週間あける

市で接種しているファイザー社製の新型コロナワクチンは3週間以上あけて2回接種が必要ですから、まずこちらを終わらせて、インフルエンザワクチンを接種する方が良いでしょう。インフルエンザワクチンの効果は4~5か月とされています。

? Q 新型コロナウイルス感染症に罹患した方が 新型コロナワクチン接種を希望する場合の注意点は

治療状況によって異なる

まず治療を受けた病院に相談し、判断を仰ぎましょう。私は患者さんに「抗体カクテル療法を受けた場合は、90日以上待ってから」接種するようアドバイスします。

? Q インフルエンザと新型コロナウイルス感染症 同時に感染することはありますか

基本的には同時に2種類発症することはまれ

抗原検査で陽性判定が出て全員が感染症を発症しているわけではありません。ウイルスが存在しているだけで、発症していないこともあります。同時に感染を起こしても、発症は順番待ちをしなくてもいいことが多いです。

それぞれの症状の特徴

初期の症状に大きな差はない

▶ インフルエンザ

…急激に発熱することや風邪症状は遅れて出てくることが多く、潜伏期間が短いので家庭内では1~2日以内にどんどん広がる傾向があります。私の診療経験からいうと、インフルエンザは2~3日目に一度少し熱が下がり再上昇し、ほぼ5日以内に解熱するケースが多いです。また治療薬を使用すると、3日以内に解熱するケースが多くみられます。

▶ 新型コロナウイルス感染症

…症状が多岐なので、症状からの診断は難しいです。発症日の2日前から感染性があると言われています。

予防策は同じです。市HP(右記二次元バーコード)に詳細を掲載しています



智子先生が高齢者向けに予防接種の疑問を “町プロ”動画で分かりやすく解説!

町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト推進協
議会HPで公開しています。 問 高齢者福祉課 ☎724・2140



コロナ関連

ヨコモジ用語を智子先生が分かりやすく解説

● ブースター接種

“ブースター”とは後押しする人・機能を増強する機械などの意味を示します。一度得られた免疫に対してウイルスが体内に入ること、感染症に至らずに、免疫効果だけが強くなることを「ブースター効果」と呼びます。

ワクチンを接種して、体内に免疫効果が得られますが、良い状態が長期的に続くわけではありません。その免疫効果を強くするために追加のワクチン接種(3回目接種)を行うことを「ブースター接種」と呼びます。

● 抗体カクテル療法

“カクテル”とはベースとなるお酒に他のアルコールやジュースなどを混ぜて作る飲み物のことです。新型コロナウイルスに対する中和作用を持つ2種類の抗体を組み合わせて投与するため、「抗体カクテル療法」と呼ばれます。感染早期に投与することで、ウイルスの細胞内への侵入を防ぎ、ウイルス増殖を抑制すると言われています。つまり重症化を防ぎます。

● ブレイクスルー感染

“ブレイクスルー”とは困難や障壁(ここでは防御)を突破するという意味です。そこから、新型コロナワクチン接種完了後に感染することをこのように呼びます。そもそもワクチンの効果は100%ではないこと、体内での抗体作成には個人差があること、抗体量が時間経過で減少すること、体内にはさまざまな免疫機能があり、そのどこかで弱い部分があると抗体がしっかり作用しないことなどが考えられます。しかし、数値で測る事ができない「免疫記憶」が人間には備わっているため、抗体量が少なかったり、減少したりしても、ワクチンを接種した人は重症化や死亡を防ぐことができるとされています。